

アメリカン・エンタープライズ研究所 (AEI) : トランプ政権の関税は過大評価されている

リッター・ディアス博士
国際コンサルタント
2025年4月9日、東京

初めから、通商の専門家や経済学者たちは、トランプ政権が新たな関税を算出する際に用いた計算式の妥当性に懸念を示してきました。トランプ大統領の実績は、事実や科学的厳密性との継続的な対立を示すものであり、国内外の世論を操作するために誇張を戦略的に用いる傾向が見られます。

保守系であり共和党政策に親和的なシンクタンクであるアメリカン・エンタープライズ研究所 (AEI) によれば、ホワイトハウスが発表した関税率は著しく過大評価されていると指摘されています。AEI の分析は、関税計算式の技術的な正当性を疑問視すると同時に、貿易相手国がその歪みの程度を認識した場合に生じる外交的リスクをも浮き彫りにしています。

報告書は、「トランプ政権は関税計算において誤った数値を使用した」と述べており、意図的な操作の可能性すら示唆しています。

AEI による主な指摘事項の要約

技術的厳密性の欠如

- AEI は、根本的な誤りを指摘しています。政権は、輸入価格の弾力性ではなく、小売価格の弾力性を用いて関税を算出しました。
- 本来使用すべき弾力性 (約 0.945) の代わりに、0.25 を適用したことで、関税が約 4 倍に膨れ上がる結果となりました。
- AEI の経済学者たちは、これは単なる見落としではなく、方法論上の重大な失敗であるとし、「素人のような誤り」「プロフェッショナリズムを欠いた行為」と断じています。

概念的明確さ

- 報告書は、貿易政策において重視すべきは「輸入者が支払う価格」であり、「消費者が支払う小売価格」ではないと明確に説明しています。
- 間違った弾力性を使えば、経済的影響の推計は完全に誤ったものとなります。
- 仮に正確な数値で計算し直せば、関税率は大幅に低下します。たとえば、カンボジアの関税率は 49% から 13% に、ベトナムは 46% から 12.2% に下がるとされます。ほとんどの国は最低税率 10% に収束する見込みです。

- 米国通商代表部が参考にしたハーバード大学のアルベルト・カヴァッロ教授も、自身の研究は弾力性 1.0 前後を支持すると明言しており、AEI の指摘を裏付けています。
- ホワイトハウスは「消費者行動をよりの確に反映する」として小売価格の弾力性を用いたと主張しましたが、これは**政治的都合による判断**と見られています。

政治的・経済的影響

- 関税を人為的に引き上げたことは、米国の通商政策の信頼性を損なうだけでなく、**貿易相手国による報復措置**を誘発し、国際的緊張を悪化させ、国内経済にも深刻な影響を与えています。
- **JPMorgan** など**主要金融機関**は、これらの関税措置の直接的な結果として、**2025 年後半に景気後退が始まる**と予測しています。

透明性と信頼性

- AEI の経済学者デレク・シザーズは、今回の誤りが**意図的であった可能性**を示唆し、それが事実であれば、**政治的操作と職業倫理違反**にあたり、米国の制度的信用に重大な損害を与えると警鐘を鳴らしています。

結論

- AEI の分析は、**政治的または地政学的な目的のために、設計の甘い経済政策を用いることの危険性**を強く警告するものです。
- 貿易政策は、**技術的に堅牢な基準**に基づくべきであり、トランプ政権が提唱するような保護主義的な「公正貿易」の物語に基づくべきではありません。
- 現政権の手法は、**不均衡を是正するどころか、それを拡大させており**、世界の信頼を損ない、市場を不安定にさせています。
- このような厳しい批判が、**保守系シンクタンクから発せられている**という事実が、報告書に一層の重みと信頼性を与えています。